

～原子力の
理解を求めて～

えねるぎーかわらばん

Vol. 86

福井県原子力平和利用協議会 略称(原平協)
事務局:敦賀市野神40-203 TEL:0770-24-5450
原平協HP: https://genheikyo.jimdo.com QRコード



私たちの暮らしを守るために 「地球温暖化」について 考えてみませんか?

近年、地球の平均気温が上昇することによって、熱波や干ばつ、降水パターンの変化など、さまざまな気候変動が起こり、私たちの生活に大きな影響を与えています。近年、各地で起こっている猛暑や台風、豪雨を生み出す「地球温暖化」について一緒に考えてみましょう。

■「地球温暖化」ってどうして起こるの?

太陽から降り注ぐ光は、地表面に熱として吸収され、そのあと大気中に放出されます。しかし、すべてが宇宙に戻るわけではなく、一部は大気中のガスに吸収されます。このガスが二酸化炭素(CO₂)、メタンなどの温室効果ガスです。

現在、地球の平均気温は、14℃前後ですが、もし大気中に水蒸気やCO₂、メタンなどの温室効果ガスがなければ、マイナス19℃ほどになるとされています。このように温室効果ガスには、人間が生存し過ごしやすい温暖な気候を保つという大切な役割があるのです。

しかし、人間のさまざまな活動によって、大気中のCO₂が増えすぎると、多くの熱が地球にとどまるようになり、地球がビニールハウスの中にあるように、徐々に熱くなっています。これが地球温暖化です。



■ 気温上昇によって、予想される日本への影響は?

21世紀末、予測される影響(最悪ケース)

気候	気温	3.8~6.8℃上昇
	降水量	9~16%増加
	海面	56~59cm上昇
災害	洪水	年被害額が3倍程度に拡大
	砂浜	80~82%消失
	干潟	11~12%消失
食糧	コメ	収量に大きな変化はないが、品質低下リスクが増大
	うんしゅうみかん	栽培適地がなくなる
健康	熱中症	死者、救急搬送車数が2倍以上に増加
	ヤブ蚊	分布域が国土の約4割から75~96%に拡大

出典:環境省2014年報告書より抜粋

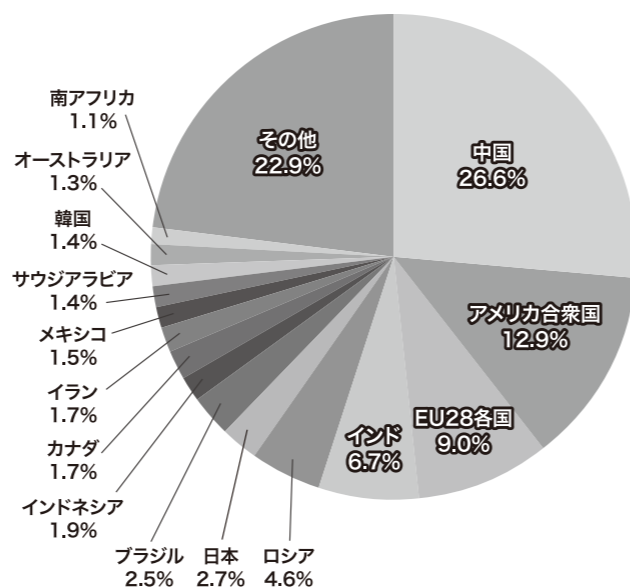
世界中で自然災害が多くなっているのも、気温が上がっているからなのね。温室効果ガスの中でも、地球にとって影響が大きいのはなあに?



温室効果ガスの中でも、地球温暖化への影響が最も大きいのは、二酸化炭素(CO₂)なんじゃよ。CO₂のほとんどは、石炭や石油などの化石燃料の利用によって排出されているんじゃよ。先進国からも途上国からも大量のCO₂が出ているんじゃ。

■ 世界のCO₂排出量の内訳

各国別の温室効果ガス排出量シェア(2018年)



出典:日本のエネルギー2018

大量のCO₂を減らすための、地球温暖化対策への取り組みって何かあるの?



2015年11月にパリ協定が採択され世界各国のCO₂削減目標が決まったんじゃ。日本は2050年までに2013年と比べて80%削減する高い目標を設定したんじゃよ。

そんなに高い目標をクリアするためにはどんな対策が必要なの?



地球温暖化を防ぐ大きな柱は、家庭や工場、自動車などの電化や電動化を進めて、省エネルギーと省CO₂を進める事、そしてCO₂排出量の少ない発電をすることじゃと思うよ。

そのとおりだと思うわ。みんなて取り組むためにも、博士の考えをもう一度整理して教えて!



よく聞くんじゃよ。2050年時点でCO₂排出量を80%削減するという目標に向けては、次の3つの対策を徹底的に推し進める必要があると思うんじゃ。

- ①徹底した省エネルギーの推進
- ②再生可能エネルギーの最大限の導入
- ③原子力の活用(発電所の再稼働・新增設)

よく分かりました。みんなて進めて、私たちの地球を守りましょう!!



事業活動レポート

近畿大学でエネカフェを開催!!

敦賀支部青年部

2012年から実施している「Ene Café」(注1)ですが、近年は地元で原子力分野を学ぶ学生(福井工業大学・福井大学)たちにもご協力いただきながら活動を続けております。

今年度はその活動を進化させるべく、2019年11月に「今後の日本を背負っていく若い世代同士の意見交換ができる土壌づくり」をテーマに掲げ、「Ene Café」としては初めて電力消費地の大学キャンパス内(近畿大学)で開催しました。

今回はパネル内容を刷新することからはじめ、企画段階から学生にも主体的に関わっていたいただき、より分かりやすいパネルが作成出来たことや、パネル内容を学生自身が自分の言葉で伝える準備をして、当日を迎えることが出来たことは大きな成果でした。

当日は小雨も降る寒い中にも関わらず、「Ene Café」過去最大の300名以上の来場をいただき、大盛況に終わることができました。

アンケート結果からみても、「説明やパネルが分かりやすく伝わった」「勉強になった」「刺激になった」などの学生さんらしく真面目で前向きな感想が多く聞かれ、エネルギー問題を無関心ではなく自分事として少しでも興味をもっていた結果であったと考えます。

福井から参加した学生からも、「今までにない経験を得られた」「エネルギー問題に関して自分の思いをブラッシュアップできる機会になった」という前向きな嬉しい意見をられました。

最後に「若い世代へどのように効果的に発信し気づきを与えることが出来るのか」という従来からの課題に対しては、大学キャンパスという絶好のロケーションを通して、我々大人が裏方でバックアップし、学生が表に出て中心となって活動することで実現できたのではないかと思います。実際に現場で学生さん達が一生懸命に広報し、伝える姿や、聞く側の学生の真剣な眼差しを見て、「若い世代同士の意見交換」がしっかりと出来たと感じましたし、それが相手に伝わりやすく、いい結果に繋がったのではないかと考えます。

(注1)「Ene Café」エネカフェとは、日本のエネルギー事情に関し、コーヒー等を飲みながら懇談をする場。



次号は、12月12日(土)に「エネルギー安全保障について」を掲載予定です。